



# STATION GALLERY



場 所▼JR東海駅(ギャラリーA…駅舎2階、ギャラリーB…駅舎1階)

問い合わせ▼東海駅コミュニティ施設管理室(☎287-3680)

## 開催中! 企画展「とうかいきっずミュージアム 2023 ~のぞいてみよう! 図工の時間~」

期間▼8月19日(土)まで

時間▼午前10時から午後7時(8月12日(土)は午後4時、8月19日(土)は午後3時)まで



期 間	ギャラリーA	ギャラリーB
8月12日(土)まで	小学3年生	小学4年生
8月13日(日)~19日(土)	小学5年生	小学6年生

## 佐川憲一郎写真展「四季巡礼 ~第3章 福島 中通りから裏磐梯の景~」 (ギャラリーA)

常陸太田市出身の作家による“四季巡礼”をテーマとしたシリーズ写真展。棚倉町や三春町の枝垂れ桜、安達太良山麓の滝・溪流、裏磐梯の湖沼など、福島県内各地のさまざまな四季の景観を撮影した約50点の作品を展示します。



期日▼8月20日(日)~26日(土)

時間▼午前10時から午後5時(最終日は午後3時)まで

## 「新構造茨城作家展'23」 (ギャラリーA)

作家13人の、個性を大事にした自由な創作活動による作品39点を展示します。絵画(水彩・油彩)、版画(シルクスクリーン)、彫刻(石彫)、工芸(陶)の4部門の同時展示により、それぞれの作品の魅力とともに、多彩な芸術作品に彩られた展示空間をお楽しみください。

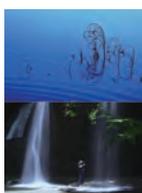


期間▼8月27日(日)~9月2日(土)

時間▼午前10時から午後6時(最終日は午後3時)まで

## 第5回「フォト・フレンド東海 写真展」(ギャラリーA)

村内および近隣地域に在住の写真愛好家7人による写真展です。「映り込み」をテーマとした課題作品のほか、作家各自の自由な題材による作品(1人につき4~6点)を加えた、約40点の作品を展示します。



期間▼9月3日(日)~9日(土)

時間▼午前10時から午後6時(最終日は午後3時)まで

# 文芸とうかい

## 【俳句】

ところてん食む乙女らの清し

南 台 渋谷ひろし

次々と白い花咲く夏椿

外 宿 井坂 正一

アジサイや夜明けの窓に風がなく

豊 白 東海林笑湖

奥久慈によさこい祭り夏来る

船 場 庭田紀久子

向日葵や祖国をバスの遠ざかる

豊 白 小林 久男

焼石を早走りする蜥蜴の子

村 松 堀木 純子

急変化飛び交う霧笛久慈河口

駅 西 加藤 洋二

酒こぼす拳で拭ふ夏祭り

村 松 北 小野寺紀夫

メロデイは昔のまんま祭り来る

村 松 大内たけみつ

マドンナも首にタオルの猛暑かな

緑ヶ丘 内田 芳勲

## 【短歌】

遠雷に昼の暑さを和まされ

今夜は雨が期待できるか

白方中央 寺島 功夫

夏野菜初収穫を手のひらに

いばいばきゅうりいとおしく食む

外 宿 小林美代子

梅雨去りて夏まだ半ばの半夏生

水面に映える上弦の月

白方中央 鈴木 忠和

ケーブルカーを横目に登る筑波山

齢八十過ぎのチャレンジを

照 沼 佐藤 昇

今日という大事な時間は過去となり

明日という日に希望をたくす

白方中央 海老根ヨシイ

龍安寺白砂の庭はかみさびて

人影も無く蝉なきわたる

緑ヶ丘 福地美智子

梅を干す妻の背を射す炎天に

愚痴を言いつつ乾きを喜ぶ

村 松 北 北 いづみ

抱き上げし腕の中の初曾孫

四肢ばたつかせ我が胸を蹴る

駅 西 大貫はるみ

朝明けに夜露の草を刈った兄

手鎌を下げて酷暑にまねる

九十九髪うす紫にそめし婦に

若くなつたね美容師の笑む

須和間 柴山 靖子

旧友の旅の語らいなつかしく

亡きし友あり思い偲びぬ

船 場 根本 ちる